

AMEBRIETO

N-ro 169

町田エスペラント会

Esperanto-klubo de Maçida

★ 2019年度 活動計画 ★

- 1 総 会 1月27日(日) 13:30~15:30
- 2 機 関 紙 発 行 169号~174号
- 3 AMUZA KUNVENO 6月1日(土) <担当:土曜グループ>
- 4 八ヶ岳合宿 9月20日(金)~21日(土)
<担当:ひだまり荘グループ>
- 5 ZAMENHOF 祭 12月7日(土) <担当:土曜グループ>
- 6 学習会 毎火曜日 10:00~11:30 ひだまり荘
毎土曜日 14:00~16:30 町田市生涯学習センター
毎月2回 13:30~15:30 町田市生涯学習センター
- 7 各種行事への参加 世界大会、日本大会、合宿、セミナー 等
- 8 その他 広報誌への掲載等

★役 員 (任期は2019、2020年)

- ・会 長 木村護郎クリストフ
- ・副会長 上農百合子、木島健治
- ・会 計 山本美郷
- ・監 査 鳥居房子

★事務局担当

- ・事務局長 久場俊男
- ・連絡員 河合計井子
- ・編集員 永木正子、早川吉則
- ・HP管理 桐山雅昭、永木正子
- ・ML管理 桐山雅昭、クーヴェ
- ・広報 上農、桐山、クーヴェ

2019年3月

第30回町田エスペラント会総会は、1月27日(日)町田市生涯学習センターにおいて開催され、2018年度活動報告及び決算報告が承認されました。また、新年度の活動計画及び予算の決議と役員改選が行われました。

出席者：明石、上農、河合、木島、木村、桐山、クーヴェ、高垣、鳥居、永木、早川、山本 12人

議題1 2018年度活動報告及び決算報告について

事務局より活動報告について説明後、以下のとおり承認。

- 1 総会 1月21日(日) 13:30~15:30 町田市生涯学習センター
参加者 9人 明石、上農、河合、木島、木村、クーヴェ、高垣、鳥居、永木
- 2 機関紙発行 6回 163号~168号
- 3 AMUZA KUNVENO 6月2日(土) 13:30~16:00 町田市生涯学習センター
参加者 12人 明石、上農、河合、桐山、クーヴェ、久場、鳥居、永木、実沢、山本、米山
ゲスト: s-ro Ran (イスラエル)
- 4 ハケ岳合宿 9月1日(土) 13:20~2日(日) 11:40 ハケ岳エスペラント館
参加者 10人 上農、金子、木島、桐山、久場、永木、山本、米山、萱原(横浜)
ゲスト: 藤巻謙一氏(沼津エスペラント会)
- 5 ZAMENHOF 祭 12月1日(土) 13:30~16:45 町田市生涯学習センター
参加者 15人 明石、上農、金子、木島、桐山、クーヴェ、久場、鳥居、永木、原田、山本、渡辺、大庭(TEK)、萱原(横浜)、ゲスト: 石野良夫氏(新宿エスペラント会)
- 6 学習会
毎火曜日 10:00~11:30 ひだまり荘 (明石、河合、久場、鳥居、永木)
輪読「GEMVERKOJ DE Higuči Iĉijou」、歌、
「やさしい作文」、「krucvorto」、「Lasta Novaĵo de Japanio」
毎土曜日 14:00~16:30 町田市生涯学習センター (上農、桐山、クーヴェ、永木、実沢、山本)
会話、輪読「Ĉirkaŭ la mondo dum okdek tagoj」「TAMEN ĜI MOVIĜAS !」
毎月2回 13:30~15:30 町田市生涯学習センター (金子、渡辺、講師:上農)
会話「エスペラント会話教室」、音読「Ivan la Malsaĝulo」、輪読・
読解「Kumeŭaŭa」
- 7 各種行事への参加
①世界大会 7月リスボン(ポルトガル)参加者3人(上農、永木、山本) ②日本大会 10月奈良市 参加者3人(上農、桐山、山本) ③E集中セミナー 6月嵐山(埼玉) 参加者6人(明石、上農、桐山、鳥居、早川、原田) ④NEK 8月ハケ岳 参加者2人(上農、桐山) ⑤グローバルフェスタ 9月台場 参加者1人(桐山) ⑥東北大会 9月遠野市(岩手) 参加者1人(上農) ⑦ILEI 7月マドリッド(スペイン) 参加者1人(上農) ⑧全アメリカ大会 2月ハバナ(キューバ) 参加者1人(上農) 他

続いて、会計より決算報告について説明後、以下のとおり承認。

〈2018年度決算〉

1 収入の部

会員数 20 名

費目	予算	決算	差額	備考
繰越金	26,085	26,085	0	
会費	38,000	40,000	2,000	20名分
雑収入	2,000	990	△1,010	八ヶ岳合宿参加者寄付 450 円、 JEI 図書払戻金 540 円
合計	66,085	67,075	990	

2 支出の部

費目	予算	決算	差額	備考
機関誌	20,000	13,925	6,075	郵送費 11,625 円、印刷代等 2,300 円
事務費	5,000	2,085	2,915	事務用品代、コピー代
行事費	5,000	3,100	1,900	会場使用料等
交流費	30,000	24,000	6,000	講師謝礼金等
JEI会費	2,000	2,000	0	
予備費	4,085	0	4,085	
計	66,085	45,110	20,975	
次年度へ繰越		21,965		
合計	66,085	67,075		

特別会計 190,997 円

入会者 2名(金子孝枝様、渡辺智子様) 退会者 1名(佐藤利子様)

議題 2 2019 年度活動計画及び予算案について

事務局より活動計画について説明後、1ページ記載のとおり決定。

- ・八ヶ岳合宿について、ゲストには、日本大会に合わせて来日する上農さんの友人 Martine Demouy 夫妻(フランス)をお迎えする予定。
また、これまで土日を利用して行ってきたが、車を出してくれる参加者の負担軽減のため、交通量の比較的少ない平日に行ってはどうかとの意見があり、金土に行くことになった。
- ※各事業の担当は、総会終了後、火曜と土曜学習グループで決めました。

続いて、会計担当より 2019 年度予算案について説明後、以下のとおり決定。

- ・前年度の総会において、事業費確保策として参加費の徴収などが今後の検討課題になっていたが、予算内で行える場合は、非会員であっても参加費を徴収せず、予算枠を超える場合など、ケースごとに判断することとした。

〈2019年度予算〉

1 収入の部

2 支出の部

会員数 20 名

費目	予算	備考	費目	予算	備考
繰越金	21,965		機関誌	20,000	169～174号
会費	40,000	20×2,000	事務費	5,000	通信費
			行事費	5,000	開催経費
			交流費	30,000	謝金等
			JEI会費	2,000	
雑収入	2,000		予備費	1,965	
合計	63,965		合計	63,965	

議題3 役員改選について 1 ページ記載のとおり決定。

議題4 その他

(1) 創立 30 周年に向けて

- ・土曜学習グループのメンバーで案を検討することとした。
- ・取組案として、AMEBRIETO 特別号として、会員全員に文章を書いてもらい発行する。話題性のあるもの、日本とか町田に関する内容のものを、エスペラントに翻訳して発行する。などの意見が出た。また、皆で取り組む過程に意味があるとの意見があった。

(2) 広報の仕方について(外部への働きかけ、新規会員の募集方法)

- ・SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の利用について広報担当(1 ページ記載)を設けて検討することとした。
- ・また、市の広報紙への掲載についても行う(抽選であっても申込み手続きは必ず行う)。
- ・町田国際交流センターとの連携について、当該団体は、市在住外国人の支援を主目的としていて新規団体の加入は受け付けていないとのことだったので、国際理解部会に個人として加入し情報収集していきたいとの発言があった。



韓国釜山への旅行に誘われて

明石芙美子

10月に入って間もなく、湘南台の佐野さんより彼女の処に韓国のエスペランチスト、Stelaさんから釜山に是非再度の訪問をとのお誘いがあり、宿泊も2、3日、ご自分の家に、とのことだったので、お伺いしたいと思い、グループの人たちをお誘いしたのですが、彼女たちは、昨年、釜山のエスペラントグループの人たちと交流したばかりだったので都合がつかないということで、そのお話が私の処に回ってきました。私も大分歳をとって来ましたので、今後は、機会があったら、アジアの国々を訪問したいと思っていましたので、ありがたくお受けいたしました。

11月2日 晴れ 12:45 大韓航空機で成田を飛び立ちました。釜山着15:30の3時間弱の短い旅でした。釜山の金海空港には、すでにStelaさんが、私たちの名前を墨で書いた旗を持って迎えに来てくれていました。彼女の韓国フェンダイ車に乗って、今日の予定を聞きながら、最初に軽食を取るために食堂に寄り、その後、Stelaさんのお住まいにむかいました。そこは、釜山の西北部にある、20階建て、30階建ての高層マンションが10棟ほど2年前に建てられた新しい街で、其中の一棟の5階が彼女のお住まいでした。地下1、2階は、大きな駐車場で、ほぼ100パーセントが韓



国のフェンダイ車で占められていました。エレベーターで5階に上がり、2家族の扉のある奥の方が、彼女のお住まいでした。入口の扉をスマホのようなもので開けて靴を脱ぎ、右横の廊下に沿って行くと、右側に寝室とタブ付きのバスルーム、左側に納戸のような部屋2、突き当りにキッチン付きの広い居間1、物置1、さらにその奥に、シャワー付トイレ、10畳くらいの大きな納戸付き寝室、ここに3人くらいは優に寝ることができるダブルベッドがあり、私たちは、ここに泊めていただく事になりました。ちょっととまどったことは、全体が床なのにスリッパがないこと。テーブルも座卓なのに床の上に直接座ること、大きいベッドだとはいえ、2人一緒に寝なければならなかったこと、等ありましたが、韓国は、床暖房なので、そんなことは当たり前なのかもしれません。まだ2年ということで、ピカピカの気持ちの良いお住まいでした。ただ、おひとり住まいにしてはずいぶん広いお住まいでした。彼女は、50代でそれまでは、市の職員として、“保険健康管理”のお仕事をされていたようですが、退職をされて、新しく家、車などそろえて、2年前より今は、自由な生活を楽しんでいられるようでした。部屋には、新しいバイオリンがあり、グループで室内楽を楽しむために学習中のような様子でした。新しいお住まいには、今までにいろいろな国のエスペランチストを、16人もお迎えしたそうです。



その夜、市中心部のコンサートホールで、韓国のいろいろな芸能が行われるというこ

とで、それを見るために出かけました。コンサートホールは、すごい人の行列でしたが、Stela さんの先生であり友人でもある Granda さん達が、順番を取っておいてくださったために無事に良い席に着くことができました。もようし物は、韓国楽器による伴奏付きの歌、美しい衣装と扇による女性たちの伝統的な踊り、小太鼓をたたきながら帽子のリボン回す少年たちの群舞、綱渡り、最後に最近北朝鮮の金正恩に招かれ、好評を博した女性歌手が、アンコールに答えて沢山歌い、お開きとなりました。

11月3日 晴れ 今日、Stela さんと Granda さんが御用があったので、釜山エスペラント会の Nema さん(男性)、Amikato さん(若い女性)が、10:30頃車で迎えに来てくださり、金海(キメ)にある陶磁器フェスティバルに案内してくれることになりました。この地方は、韓国でも有数の陶磁器の産地だそうで、毎年この時期にお祭りが盛大に行われるそうです。広い



敷地には沢山のブースが並び、それぞれの窯元が自分たちの作品を展示販売していました。他の場所では、若者や子供たちが熱心に焼き物の実習を行っていました。最後に、壁に一つ一つタイルに焼き付けられた絵が貼られている陶磁器博物館に入り、有名な作家の方からコンクールで選ばれた方、またその博物館主催の陶磁器作りでの作品など鑑賞させていただき、陶磁器の事など詳しくない私でも作品のあまりの素晴らしさに感動し、とても良い時間を過ごさせていただきました。その後、チンジュ市の Tandi さん(男性)が参加してくださって、昼食にプルコギをご馳走してくださり、チンジュ城址に向かいました。城と言っても日本の城郭や天守閣に当たる建物は無く、堂々とした城門と、大きく美しい楼閣がありました。中庭に国立チンジュ博物館があったのですが時間切れ(?)で観ることができませんでした。それで、そばを流れる南江(ナムカン)のほとりの楼閣(チョクソンヌ)と門を見、広い庭を歩きました。この城は、豊臣秀吉の第一次朝鮮出兵の時(1591年)金時敏(キーシミン)が、細川忠興率いる2万の兵に対して3千8百の兵で守り抜いたということで、キーシミンの銅像が庭に建てられていました。しかし翌年の第2次攻防戦で陥落したとのこと。その時日本軍が祝宴を開いたとき集められた妓生 論介(ノンゲ)が、泥酔した持頭 毛谷村六介を岩場に誘い出し共に南江に身を投じた岩場がチョクソンヌの【義岩】として残っており、ノンゲの忠節談として語り継がれていました。

この後、チンジュのエスペランチストたち Saliko さん(小学校の校長先生)と Gaja さんが、Saliko さんの息子さんが営むカフェで迎えてくださり、総勢7人でにぎやかな Renkontiĝo となりました。Gaja さんが私と佐野さんに手作りの小物を下さったり、その他住んでいる場所、エスペラントの活動な



ど、また来年韓国エスペラント大会をチンジュでひらかれるそうでそのお話もありました。

11月4日 晴れ 近場の釜山の観光ということになり、魚市場で有名なチャガルチ市場へ。ここには、すでにグランダさんとルミさんが待っていただきました。生きのいい魚、海産物、野菜、果物等が所狭しと並べられて大きな声を出して売っていました。日本の上野にあるアメ横の10倍ぐらいの広さでとても活気がある市場でした。生ものが多かったので、あちこち見ながら通り過ぎてしまいました。ただこの方たちは、私たちが知っている戦前に日本にいらしゃった朝鮮の方々と同じような感じで、やっとここに来て、韓国にいるんだと認識しました。その後、近くにある国際市場にお土産を探しに行きました。ここは、かつて朝鮮戦争(1950年)の時に北から避難してきた人たちが開いて発展した商店街で、衣類、日用品、食材などを売るお店がたくさん並んでいました。貨幣価値が、約日本円の10分の一。したがって100ウオンが10円に当たります。値札に0がたくさんついているので、なんとなく買いにくいし、品物が日本とあまり変わりなく、ただ値段は安いような気がしましたが、買いたいものがあまりなくて、私は袋物を少しだけ買いました。その後、車は西北に走り、韓国では比較的珍しいと言われる海の傍に建立されたお寺、龍宮寺(ヨングンサ)に着きました。寺の入口には、12神将の石像があり、日曜日ということもあって大変な人出でした。海に下りる階段は、かなり急でしたが、開けた場所まで下がり又上がると波に現れた岩畳の向こうに見える大雄殿の景色は、素晴らしかったです。



その後、車は、韓国一のリゾート地、海雲台(ヘウンデ)へ。広い湾や、大きな橋を眺めた後、海雲台の南にある冬柏島へ。ここは、松と椿がたくさんある緑豊かな島で、2005年に APEC 首脳会議が開かれたヌリマル APEC ハウスのあるところで、首脳会議の開かれた部屋も公開され、出席した日本の小泉元首相の写真や席もありました。海も穏やかで、ここからの景色は、またまたとても素晴らしいものでした。その後、ビーチのレストランで遅い昼食。佐野さんが7年前にお逢いした Omro 氏も加わっておいしい海鮮料理をいただきました。そのあと高級ホテルのビーチを散策。夕陽で染まる空と海、ずーっとここでゆっくりしたいなーと思いました。

11月5日 晴れ いよいよ帰国する日。私にとって、韓国の食事は、辛すぎてちょっと苦手。それにお腹具合が良くなかったのも、残念な事でした。でも最後の食事は近くにあるお粥専門店に行くことになり、それに驚いたことにお粥の種類も30種類くらいあり、私は、まつたけ入りのお粥をたべました。味は薄味で、残念ながら、マツタケが入っているとは認識できませんでした。でもお腹には優しく助かりました。

全部人任せの旅行だったので、地に足がついていない様なふわふわ感がありましたが、自分だけでは想像もできなかったような経験もさせていただいて良かったと思っています。ただ私のエスペラントの能力の足りなさや、韓国に対する知識のなさが悔や

まれた旅でした。それでも優しく笑顔でお付き合いくださった佐野さん韓国の皆さんに感謝感謝の旅でした。

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

会費納入のお願い

2019年度の会費は2,000円です。直接会計に渡していただくか、町田エスペラント会の銀行口座に振り込み願います。

あ と が き

- ☆ 総会が無事終了し、今年度の活動計画が決まりましたので予定に入れておいてください。役員は前期と同じです。会長を始めみなさんお忙しいとは思いますが、地域エスペラント活動の持続発展のため引き続きご尽力くださるようお願いいたします。30周年記念事業計画については、土曜日の学習会の前半時間(午後2時～3時)を利用して検討していきます。アイデアがありましたら、打合せに参加されるか、事務局までご提案ください。内容によっては今年度から準備に入らないといけなくなるかもしれません。ご協力をよろしくお願いいたします。
- ☆ AMEBRIETO は、これまでどおり担当2人で、6回発行します。読後感想、旅行体験、日ごろ感じていることなど、エスペラント、日本語のどちらでも構いませんので、原稿をお寄せください。お待ちしております。(M)
- ☆ 次号の発行は5月の予定です。担当は早川さんです。
- ★ 事務局への連絡は、河合さんまでお願いします。